

事業概要表(草の根協力支援型)

I. 提案事業の概要	
1. 対象国名	マラウイ共和国
2. 事業名	マラウイ農村部におけるサステナブルな衛生環境の向上支援事業
3. 事業の背景と必要性	<p>マラウイでは慢性的な電力不足があり、国民の 97%が薪をエネルギー源として生活している。薪確保は重労働であり子どももその役割を担い、学校に行くことができず教育を受けられない状態にもつながっている。</p> <p>ムジンバ市唯一の公立病院においても電力が安定していないため、熱やお湯の確保が難しく、医療器具の滅菌消毒等が十分に行われていない。人口増加が著しい同地域では、県病院管轄下の各ヘルスセンターにて出産が毎日行われている。出産に必要な医療器具の滅菌消毒や飲料水の煮沸消毒が不十分で、不衛生な環境は妊婦や新生児へ深刻な影響がある。衛生面の知識が乏しい住民は、川から水を汲みそのまま飲料水としており、70%以上が下痢を発症している。同国は 5 歳未満児の 47.1%が慢性的な栄養失調である。栄養摂取改善に向けて食事をとったとしても、不衛生な環境下がゆえに頻繁に下痢が発生しており、せっかく摂取した栄養も吸収されずに排出されてしまう悪循環となっている。</p> <p>課題としては、そもそも衛生環境の重要性その対策方法についての知識が不足していること、そして煮沸消毒等を簡単に行える環境がないことにより、県病院をはじめ各家庭においても不衛生な環境となっていることが挙げられる。</p> <p>衛生環境の重要性が理解され、煮沸消毒や滅菌消毒が継続的にされる環境が必要であり、下痢や感染症、栄養失調等の予防や改善が求められている。</p> <p>また、過剰な森林伐採が洪水被害や温暖化といった環境問題を招いており、国全体としても薪に変わる再生可能エネルギーが求められる状態となっている。</p>
4. プロジェクト目標	住民の健康状態の改善に向けて、ソーラーボイラーの導入・定着を通じ、県病院職員の衛生環境整備能力が向上し、ヘルスセンターにおいても持続的に衛生環境が向上する仕組みが構築される。
5. 対象地域	ムジンバ県
6. 管轄する大使館等	在マラウイ日本国大使館
7. 本事業の対象となる人々	<ul style="list-style-type: none"> ・直接受益者: ムジンバ県病院職員 32 名、対象地域(マニャムラ・エディンゲニ・エンバングウェニのヘルスセンター)の職員 21 名、合計 53 名 ・間接受益者: 対象地域(マニャムラ・エディンゲニ・エンバングウェニ)のヘルスセンター管轄下の住民 56,000 人
8. 事業活動	<ol style="list-style-type: none"> 1. 県病院における衛生環境整備の方針と実施体制が構築される 2. 衛生環境マネージャーのソーラーボイラーを導入した衛生環境整備活動を実施するための技術と知識が向上する 3. ヘルスセンターの環境整備や住民への衛生環境セミナーが実施できる体制が構築される 4. 保健省と連携し、他地域でも衛生環境が向上する計画が策定される
9. 実施期間	(西暦)2021 年 11 月～2024 年1月(計 2 年 3 か月)
10. 事業費概算額	9,998 千円
11. 事業の実施体制	<ul style="list-style-type: none"> ・国内実施体制: 特定非営利活動法人 Colorbath が実施団体となり、総合調整、事業進行、専門家派遣、本邦研修、広報等を行う。 ・現地支援体制: カウンターパート機関であるムジンバ県南部保健局と連携しながら事業を実施する。現地の事業実施体制の確立や人員調整はカウンターパート機関が担当し、専門家派遣時以外は、遠隔によりムジンバ県病院と連携しモニタリグを実施する。
II. 提案団体の概要	
1. 団体名	特定非営利活動法人 Colorbath
2. 活動内容	「想いをカタチに、未来をつむぐ」をミッションに掲げ、途上国の課題解決に向けた雇用創出事業を展開。日本と途上国の「国のつながり」ではなく「人と人とのつながり」を大切に、正解が一つではないこれからの社会を生きていくグローバル人材の育成に貢献する。